

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報 10月1日号 全国酪農協会
第28回繁殖改善で経営向上「牛群検定活用しよう」渡邊 徹 家畜改良アドバイザー
ストレスに関係なくCa吸収 DFAⅢ作用で直接血管内に
- 2 デーリィマン 10月号 デーリィマン社
牛群検定の読み方(その13)
分娩後初回授精の推奨値は初産が80日、2産以上は60日
- 3 LIAJニュース9月号 (一社)家畜改良事業団
 - ①新しい牛群検定成績表について(その86) [検定成績表見方](#) [検索](#)
 - ②牛群検定ビッグデータ(その29)
除籍理由の月別変化について

乳量計を洗浄しよう!

- ・タンパク質、脂質、糖分など
- ・水分
- ・温度



微生物の大好物!

不衛生だと検定の度に
細菌数が増加!



ほこりまみれの外側



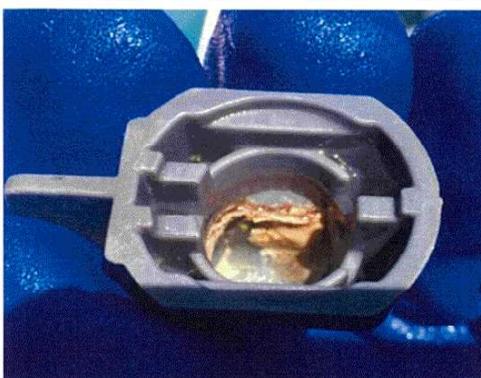
流れの悪いところがチーズ状に



ゴムリングと本体の間がチーズ状に



こんなにもチーズ状に

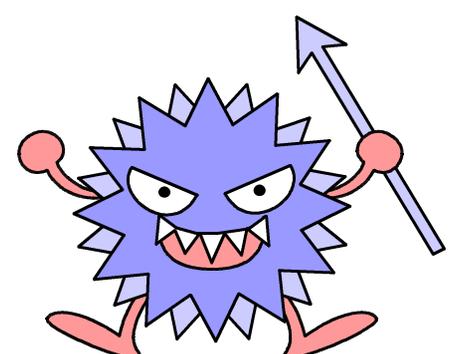


サンプル採取ノズル(F型)内部



バルブインナー内部

自動洗浄だけでは不十分です。
正確な乳量を測ることが出来ない
ことに加え、食品の生産として不
衛生です



牛群検定！点検シート（その65 冬季の成績表）

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょ！今回は、これからの冬季に注意しなければならない事項のチェックです。

農家コード _____ 氏名 _____

1) 図1は、検定成績表の2枚目です。乳量の欄に矢印①のように▽▼マークがタテに沢山並んでいませんか？

Yes No

→Yes 冬から春にかけては、乳量をもっとも伸びる時期です。この時期に一斉乳量減少は最も避けなければならない大きなトラブルです。

2) 図2は、検定成績表の1枚目中央です。体細胞数情報において矢印②のように冬季の体細胞数が高くありませんか？

Yes No

→Yes 一般に冬季の体細胞数は低くなります。もし、逆に高くなるようでしたら、何らかのトラブルです。

図1

牛 コード	乳 量 (kg)					
	今 月			標 準 量	前月	前々月
	1回	2回	合計			
0121	9.0	12.0	21.0	24.4	23.0	23.2
0017	17.2	10.4	▼27.6	34.6	34.6	37.8
0063	12.4	8.4	▼20.8	33.3	24.2	▼25.6
0120	6.0	8.0	▼14.0	25.8	26.6	24.0
0106	11.0	13.5	24.6	27.9	▼24.0	28.0
0003	14.0	15.0	▼29.0	32.9	35.0	▼37.4
0119	15.0	9.5	▼24.6	30.3	30.8	31.4
0118	14.0	10.0	▼24.0	29.6	31.0	30.0
0093	10.0	18.0	28.0	35.2	22.6	23.0
0074	8.0	8.0	▼16.0	22.7	▼20.0	22.4
0031	14.6	13.4	▼28.0	36.7	36.0	39.2
0098	13.0	12.8	25.8	36.2	26.8	29.0

全頭一斉に乳量が下がった場合は、まずは搾乳機器を点検して下さい。冬は機械に不具合が発生しやすく、真空圧の確認が必要です。飲水も確認しましょう。水道管の凍結も要注意です。

飼料も水分が多いとシャーベット状になり、冷たい水と重なり下痢や栄養不足の原因となります。また、図2のような冬季の乳房炎が蔓延しても一斉に乳量を落とす原因となります。

冬季は乾燥しやすいことから寒さに強い乳牛でも、感冒（風邪）が牛舎内で流行することがあります。この場合は、子牛に感染すると肺炎を起こします。早めに獣医師に相談してください。

図2

移動 13ヵ月 成績	体 細 胞 情 報							
	体細胞数 平均	搾乳牛頭数比率			千/ml 新規 頭数	乳量 損失率	損失 乳代 (円当り)	子牛
		70 以下	7~ 282	283 以上				
検定年月日	千/ml	%	%	%	%	%	%	%
24.10.26	146(3.0)	36	51	13	6	5	2	157
24.11.22	181(3.2)	32	47	21	12	11	2	166
24.12.21	165(3.1)	35	50	15	9	8	2	154
25.01.24	301(3.4)	29	47	24	11	9	2	161
25.02.22	426(3.9)	25	41	34	8	12	2	274
25.03.26	423(3.4)	25	49	36	5	9	2	216
25.04.24	189(3.1)	31	53	16	6	6	2	154
25.05.28	176(3.1)	38	46	16	7	7	2	145
25.06.18	149(3.0)	40	42	18	7	6	2	122
25.07.24	229(3.3)	34	43	24	11	9	2	143
25.08.26	217(3.2)	31	53	16	4	3	2	161
25.09.24	238(3.2)	36	45	19	8	7	2	172
25.10.23	238(3.1)	38	46	15	6	6	2	195
平均・計	203(3.2)	33	49	18	8	7	2	1894
前年成績	211(3.1)	37	47	16	6	5	2	1677

乳頭が、ヒビやアカギレで荒れていませんか？搾乳時に乳頭をチェックして下さい。乾燥した冷たい寒風が、乳頭に直に当たらないようにしましょう。やや高価ですが保湿剤入りディッピング剤も販売されています。

